

プロテクティブ・プット戦略 シミュレーション報告

前提条件

USD/JPY = 150.00円で1,000,000 USDを保有する状況を想定。主要条件は以下の通りです。

- ・ プット行使価格 (K): 148.00 円/USD
- ・ ボラティリティ: 年率 10%
- ・ 米ドル金利: 年率 4.20%
- ・ 円金利: 年率 1.60%
- ・ 期間: 1か月

コスト比較

為替リスクヘッジにおけるコストは以下の通りです。

- ・ オプション料: 1,003,679円
(Premium 1.0037 JPY/USD × 1,000,000 USD)
- 名目比: 0.67%

- ・ 借入によるヘッジの場合: 借入利息 525,000円
(150,000,000円 × 年率4.2% × 1か月)

リスク限定効果

- ・ 最大損失: -3,003,679円

計算式: $(K - S_0 - \text{Premium/JPY}) \times \text{USD数量}$

- ・ 為替が大幅に円高に進行しても、損失は一定水準で抑制される。
- ・ 一方で、円安に進行した場合の利益は制限されず、アップサイドを享受可能。

総括

プロテクティブ・プット戦略は、オプション料というコストを負担することで、為替の大幅な円高局面において損失を限定できる。借入によるヘッジと比較するとコストは高いが、円安方向の利益を確保できる点が大きな特徴である。したがって、本戦略は「コストをかけても損失限定を優先し、円安メリットを維持したいケース」に適している。

参考図表1: プロテクティブ・プット戦略のシミュレーション結果

Protective Put

Parameters

S0 (USD/JPY)	K (Strike)	Volatility (% p.a.)	Quantity (USD)	JPY Rate (% p.a.)	
<input type="text" value="150.00"/>	<input type="text" value="148.00"/>	<input type="text" value="10.00"/>	<input type="text" value="1000000"/>	<input type="text" value="1.60"/>	
USD Rate (% p.a.)	Months	Borrow Rate (% p.a.)	Min	Max	Points
<input type="text" value="4.20"/>	<input type="text" value="1.0"/>	<input type="text" value="4.20"/>	<input type="text" value="130.0"/>	<input type="text" value="160.0"/>	<input type="text" value="251"/>

[Update Chart](#)[→ Callページへ](#)

* グラフ内の文字は英語。日本語の解説は本ページで補足表示します。

コストサマリー

オプション料

1,003,679 JPY(Premium $1.0037 \text{ JPY/USD} \times 1,000,000 \text{ USD}$)

名目比: 0.67%

借入利息

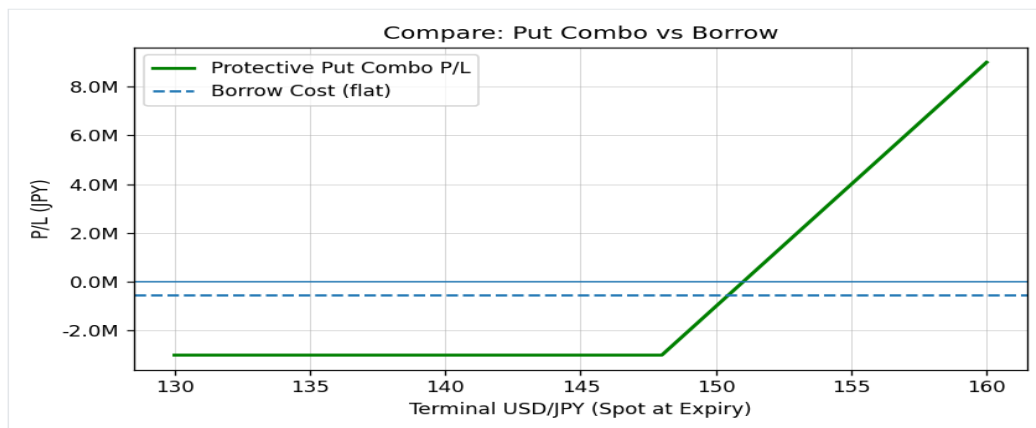
525,000 JPY(年率 4.20% \times 1.0ヶ月 / 元本: 150,000,000 JPY)

Loss floor (最大損失)

-3,003,679 JPY $= (K - S_0 - \text{Premium/JPY}) \times \text{USD数量}$

参考図表2: ヘッジ比較 (Put Combo vs 借入利息)

ヘッジ比較 (Put) : Option Combo vs 借入利息



借入利息ラインは「元本 = $S_0 \times \text{Quantity}$ 、年率 = 4.20%、期間 = 1.0ヶ月」を仮定しています。
表示単位: M = 百万円